

## 杉並区総合計画等一部修正案に対する区民等の意見

※ 提出された意見について、個人情報などを除き、原則として全文を公表します。

通し 番号	意見
1	<p>車椅子を使用しています。 歩道と車道の境目の段差をなくしてほしいです。 歩道に上がるたびにひっかかり、身体に大きな衝撃が走ります。 特に駅周辺は何度も通るので、毎日ひっかかって嫌になります。 視覚障害者に歩道だと分かるようにするために2cmの段差を作っているということですが、歩道の端だけとか、一部でいいのでフラットな場所をつくってほしいです。</p> <p>また、高円寺駅高架下がせっかく改装されたのに、段差があり(ケンタッキーの入り口から高架下に入っていけない)車椅子で入りにくいです。</p> <p>歩道が斜めになっていて車椅子で走ると車輪が車道へ流されてしまう箇所があります。 いまも役所のみなさんによって住みやすい環境になっていますが、あと一步、さらなるバリアフリーな街づくりをお願いしたいです。</p>
2	<p>1 計画策定の修正があったとの広報があったので、確認しましたが、この程度の改正内容であれば、わざわざ広報特集を組んで、全戸配布する必要はないのではないのでしょうか。広報特集・全戸配布にかかるコストはどの程度になるのでしょうか。費用対効果を考えていただきたい。</p> <p>また、広報紙も内容が薄いと感じました。もっと具体的に改正内容を記述し、その背景や理由をしっかりと訴えていただきたい。</p> <p>2 修正内容を確認しましたが、どれも国の情勢や災害、上位計画との整合を図るような内容で、杉並区としての主体性が現れない修正内容でした。このような外部要因的な修正に、誰が反対したり、意見できますでしょうか？</p> <p>この程度の形式的な修正については、区議会などで審議いただければ十分であり、区民に是非・意見を問う必要はないのではないのでしょうか。</p> <p>以上</p>
3	<p>オーガニック学校給食が理想ですが、地産地消であったり、パンよりもごはん、牛乳の選択制など、給食のクオリティ向上を希望します。</p>
4	<p>老朽化した稼働率の低い施設に対しては、廃止を含めた税金の削減という方針に転換して欲しい。</p> <p>施設ありきで税金を投入するのは思考停止だと考える。</p>
5	<p>E メールやホームページへの書き込みが可能と広報に書かれていますが、Eメールの宛先アドレスが不明、またホームページのどこに書き込めるのか不明です。ので、こちらに書きます。</p> <p>下高井戸地域は杉並区の端っこのせいかサービスレベルが低いと思います。均一のサービス提供をお願いしたいです。まず、桜上水会議室の改善をお願いします(もしくは徒歩圏内近隣により良い会議室を提供してください)。桜上水会議室は2階建てで会議室が2階にありますが、エレベーターがないので車いすの方の利用ができません。また、2部屋の一方に消防法に定められた(?)火災感知器が設置されていません。また、プロジェクターなど会議室として必須の備品がありません。</p> <p>また、建物の鍵の管理場所が永福和泉地域区民センターということだととても不便です。改善を</p>

	<p>お願いしたいです。</p>
6	<p>子どもの権利擁護の推進に関する意見</p> <p>上記の件施策目標に掲げより具体的に数値目標を設定されたことは間違いではないと思います がより具体施策が必要と思います。</p> <p>区立小学校へ通学している孫たちや保護者の話を聞く限りここ 10 年間にわたり、もっと長期 かも知れませんが学級崩壊が散見されおり常識のある生徒や保護者達の公立学校で授業を受け る権利が大きく損なわれ事態が改善されていないと言う現実を耳にして早期に解決するため に積極的な対応をお願いしたい。この点について児童、保護者だけでなく教職員も多大な被害を 被っている現実を区は把握しておられるのか疑問に感じる次第です。早急に事案を詳細に分析 して具体的対応をお願いします。</p> <p>世の中には夫婦共働きが主流になり児童教育が教師への負担偏重或いは学童保育のための施設 増強という物理的解決に目が向いている点は反省しなければならないと思います。</p> <p>女性の社会進出、労働力不足、児童教育、学級崩壊、教師の働き過ぎや待遇改善は大きな課題 であり識者の意見を十分に聞いて杉並区として他の自治体の参考になる様な方策を期待しま す。</p>
7	<p>概ね賛成ですが、杉並区のプライバシーの取り扱いに不安があります。他県で導入されている 【本人通知制度】の導入を求めます。</p> <p>参照： 住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者に交付した場合に、希望する本人（事前に市 町村への登録が必要）に交付したことをお知らせする制度です。この制度を利用することで、 住民票の写し等の不正取得の早期発見や不正請求の抑止等につながる効果が期待されます。本 人通知制度は、法令等に基づくものではなく、各市町村が独自に要綱等を定めて実施するもの です。 <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0107/jyuuminnokatahe/honnintsuchi.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0107/jyuuminnokatahe/honnintsuchi.html</a></p>
8	<p>日頃より区民が安心して健やかに生活できるように考えていただいております。 若杉小跡地の活用について提案があります。</p> <p>防災の観点から考えると桃井原っばのように建物のない方法もありますが、日頃は区民が利用 できる居場所にして災害の時は避難できる場所にできたらと思います。</p> <p>1 避難された方々が食べられるように学校のような給食室が必要です。日頃は区役所の一階 のような障がい者が働く場としてレストランを区民に開放します。</p> <p>2 広い部屋は スポーツ、芝居、合唱、ダンス、更に他の部屋は図書室、学習室、会議室等に 使えるようにします。</p> <p>3 避難された方々が必要なダンボールベッドや毛布他は各階に収納できるようにします。</p> <p>4 トイレはマンホールトイレ、移動式トイレは勿論必要ですが、プラス「花咲かさすトイレ」 を実現できたらと思います。固まるトイレ用品を使ってもゴミ収集車は直ぐには来られません ので、土を使う方法の「花咲かさすトイレ」は必要かと思います。東日本大震災の時に協力しに 行かれた方から、トイレの問題がとても大きかったとお聞きしたこともありとても心配です。 日頃区民が利用できる場にすることで馴染みのあるみんなの居場所になって、現在天沼小で行っ ている 8 町会合同の防災訓練も若杉小跡地でやれたら参加も増えるのではないのでしょうか。 ご検討宜しくをお願いします。</p>
9	<p>ご担当者様</p> <p>いつもお世話になっております。杉並区民でよかったですと常々思っております。本計画に直接関 わる事項ではないかもしれませんが、浜田山駅南口をできるだけ早くに開設してください。浜 田山駅南口は、地域住民、駅南側の商店の皆様など、多くの人の日々の利便に直結する重要な</p>

	要素です。地元住民としては、こうしたことこそ、公益そのもののように感じます。地権者や政治的な要因などあるやに聞き伝えられています、住民らの公益最重視で本課題に迅速にご対応いただくと幸いです。何卒、よろしく願いいたします。
10	<p>子育てについてですが、保育だけではなく、幼稚園に子供を通わせるための補助を検討してほしい。</p> <p>保育園へのハードルは下がってきていると思いますが、幼稚園へのハードルが高い。</p> <p>誕生日基準ではなく、年度単位で補助の区分を分けてほしい。</p> <p>また杉並区的环境についてですが、これまで暮らしてきた場所に比べて緑が多かったりして環境への配慮は感じられますが、タバコを吸う人の数、マナーが酷すぎると感じます。</p> <p>歩きタバコ禁止と書いてあっても、平気で吸う人も多いし、至る所でタバコの臭いがするのは環境配慮への取り組みと矛盾しているように感じます。</p>
11	<p>ご担当者様</p> <p>お世話になっております。</p> <p>改築工事中に子どもが天沼中学校に通う可能性ございますが、給食室工事期間中も給食提供が継続できるよう、何卒ご配慮をお願い申し上げます。</p> <p>周りの保護者の方々も、給食継続を切に望まれております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
12	<p>旧上荻窪会議室等の跡地活用と周辺施設の検討のワークショップに参加させていただいたが、様々な意見がある中でいい落とし処に落ち着いたかなと思った。参加者の多くが高齢者であり、当初そちらに傾きがちな傾向がみられたが、全ての区民のためにと考えると計画案はよかった。私自身も高齢者に該当するが、私も同世代の友人達もゆうゆう館を利用するか？と問われると答えはノー。もう世代間ギャップがあり、お金を支払っても民間施設を使いたい、使っている。(1回4000円くらい)</p> <p>また今の若い世代では年金がどうなるか不明であり、将来に備えて働かざるを得ない。子供がいれば保育園が必須となる。待機児童ゼロを目指し、保育園を増やしたのはいいが、園庭がない、狭い園が増え、区立公園は必要不可欠な存在となった。中でも関根文化公園には朝10時から11時まで数園の園児達が来て太陽を浴びながら遊んでいる。それが突然、数年後にはほとんど公園がなくなると聞いてビックリ!!近隣住民でさえ、知らなかったことである。今まで利用して来た園の園児達の行き場がなくなるのである。善福寺川の氾濫については被害を受けたことがあるが、川自体の浚渫工事が必須なのに今夏、浚渫工事のチラシが入ったものの、例年どおり、浮草のカットだけで終わり、今は草ぼうぼうの川に戻っている。とりあえず、きちんと浚渫工事をするのが先決。</p> <p>関根文化公園を潰し、区内のみどりを減らし、子どもの居場所をなくして果たしていいのだろうか。もう少し検討の余地があるのではないかと思う。</p>
13	<p>井の頭線浜田山駅前の踏切しゃ断機が朝、降りっぱなしになる為、南側に渡れる通路工事が行なわれていたのに、それを中断させたのはなぜですか？工事が途中でとんざされたままになっています。井の頭線で踏切りを渡らずに南北に渡れない駅は、唯一浜田山駅のみです。また、駅前後の踏切りは坂になっている為、足元が不安定で、高齢者にとっても歩きにくく電車がたびたび停車する事態になっています。この通路工事は、ぜったいに必要と思われます。地域住民が、何年も待ち望んでいた、願っていた工事なのです。商店街の方々も、そう話しておられました。工事の再開をぜひ、よろしく願い致します。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティフラットにすることへの不安</li> <li>・現在、上荻ゆうゆう館も西荻北館も昼間のスケジュールが豊富な協働事業も含めて、びっしりと埋まっている。フラットの一部の日程、一部の時間に限定されるルールでこれから増えて</li> </ul>

	<p>いく高齢者が満足できる使用になるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働事業は年金で暮らす年寄向に、月の回数は少く、1回毎の受講料は500円前後であったが、フラットでは月謝制、1回1000～1650円、月7、8000円である。</li> <li>・すでに活用されているフラットでは遠くなった、使用時間が少なくなった、大きさが小さくなり今までの活動ができなくなり休止になったグループもある。</li> <li>・使用時間を今までのフラットでは足りないので増やしていく。協働事業料金も同様の料金でやってもらいたい。</li> </ul>
15	<p>子どもたちに遊び場を。家の前は私道ですが、区道並の道幅があつて結構、人通りがあります。数カ月前から、そこで、子どもたちがボール遊びをするようになりました。多いときは10人近く集まってきて、遊ぶようになりました。当然、通行人には迷惑になります。子どもの群れを見て、通るのをやめる人も多いと思います。見るに見かねて、軽く注意しましたが、余り聞いてくれません。昔は子どもたちが、どこでも自由に遊んでいました。ときには迷惑行為もあったと思いますが、よほどのことがない限り、大人たちは見逃してくれていたと思います。今は方々に、区の公園があります。そこで子どもたちを自由に遊ばせればいいのかと思います。そういう時代ではなくなって、ほとんどの公園では、子どもの遊びを禁止しているようです。管理人を置かなければ子どもの安全が確保できない。その経費が出せないということでしょうか。少子化に伴って区立の小学校の廃校が目立ってきました。例えば、衛生病院前の小学校も廃校になって時間がたちますが、広い校庭がまだ空き地のままだのように見えます。そこで、提案ですが、この空き地を子どもの遊び場に活用してはいかがでしょうか。そんなことは十分わかっている。経費がないんだということかもしれませんが、子ども手当の充実の前に、子どもたちに十分な遊び場を用意してあげることも重要なのではないのでしょうか。自分の意思では抑えきれない子どもたちのエネルギーを発散させるには、遊び場は絶対に必要です。管理人は、区が非常勤職員を充てればよいのではないのでしょうか。大人たちは自分自身の子どもの時代にどんな生活をしてきたか、一度思い返してください。子どもにとって、遊びは欠かせないものだといわれています。遊びとともに成長していくのかもしれませんが。以上、つたない文章を書きつらねましたが、十分にご検討ください。(広報すぎなみに掲載の、杉並区総合計画の一部修正の記事に触発されて、日ごろ考えていることをまとめてみました。)</p>
16	<p>浜田山に関するグループワークに参加していた者です。</p> <p>12/10の結果報告会にて意見交換の時間で意見を述べましたので、以下に要点を記載します。引き続きご検討をよろしく願いいたします。</p> <p>①ゆうゆう高井戸東館の代替活動場所への送迎などについて 特に高齢者の方々は代替活動場所への移動が困難になる可能性もあり、利用している各団体や個人へのヒアリングを通じてニーズがあるようであれば、代替活動場所への送迎サービスを検討してあげても良いのではないかと思った。 逆に代替活動場所で初めて施設を利用する方々には、将来的には元のゆうゆう高井戸東館の場所に戻ることを丁寧に説明し、揉めることがないようにしたら良いと思った。</p> <p>なお、送迎については、広義に捉えると、必ずしも近隣で行われるものだけではない区の様々なイベントに高齢者が参加しやすくなるような送迎サービスも有益かもしれない(費用負担が必要な際には非課税世帯などの優遇は考慮)。</p> <p>②旧保育室浜田山東の跡地の活用方法について 仮説園舎として使用した後の跡地利用については、将来的なニーズに即した活用をして欲しい</p>

	<p>と思った。</p> <p>跡地の活用を決定しなければいけないタイミングで拙速に方針を決定するのではなく、今からでも区民のニーズを折りにつけ聞き取るようにし、行政としての意向を反映させつつ、方針決定への準備を始めた方が良いと思った。なお、当グループでは病児に対する保育施設が良いのではないかと結論したが、これについても保育園を利用している保護者などにヒアリングなどを行い、実際のニーズを精査したら良いのではないかと考える。</p> <p>③全体のスケジュールについて</p> <p>旧保育室浜田山東の仮設園舎工事が完了しないと高井戸東保育園とゆうゆう高井戸東館の解体は始められないことは認識しているが、仮設園舎の設計や工事、保育園+ゆうゆう館新施設の設計や工事をより短縮し、現計画より早める努力をしてはどうかと感じた。</p>
17	<p>浜田山駅南口の2025年開通を切に望みます。</p> <p>途中まで進んでいた計画が破棄された事に住民として憤りを禁じ得ません。</p> <p>老朽化した踏切道はただでさえ、足をとられやすく、ましてやベビーカーや手押し車、車椅子が立ち往生する様子は、地元住民として、ハラハラさせられます。</p> <p>加えて、開かずの踏切となった際の、踏切南側が満員電車かと思うほどの人で埋まり尽くす有様は、危険因子以外の何物でもありません。</p> <p>この問題を見て見ぬふりをする現区政を支持する事はできません。</p>
18	<p>試行期間を経て令和8年から「こども誰でも通園制度」が本格実施される 就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育所等を利用できる。</p> <p>保育所は保護者の実際の勤務時間や通勤時間を合わせて保育時間を決定しているが、保護者は休暇を取得していても子どもと一緒に休むことは少なく、さらに保育時間の延長の申請は多い。自分の時間がないと訴える保護者が増え、声をかけ話をし、場合によっては保育の受け入れをする。</p> <p>子育ての孤立化を防ぐために親子の分離をする、子育ての不安は子どもと離れている時間を確保することで解決するものなのか</p> <p>実際保育の現場で働く職員は職場に入れば休憩時間を確保するのも困難で、午睡時間に会議や書類の作成、保護者対応、関係機関対応とやることは山積みだ。保育士不足は「不適切保育」という報道が増えてからより深刻になり、現場で働く職員の不安、低賃金・過重労働の問題は解決せず、産休や育休の代替えは補充できたとしても正規職員の負担は増える。「こども誰でも通園制度」の施行期間はあっても具体的な報告はないため実際制度化された時のイメージはもてず誰が？どこで？対応できるのかという疑問だけが残る。</p> <p>どの項目も同じだが、修正案がだされたものがどう検討され具体的にになっていくのかがわかりにくい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が拡大した時も休園の措置はとられたが、実際完全に閉鎖したわけではなく、必要な職種の保護者は受け入れるという曖昧な表現で保育所の職員は医療従事者とともに矢面に立たされ、その後の保護者対応も各園任せで報告だけを強いられてきた。</p> <p>保育所の役割の大きさは年々増し、子ども・職員・保護者の安全基地になっていることは十分実感しているからこそ、子育て世代が安心して生活ができるよう労働時間の短縮や保育時間の縮小を前提に、新しい制度の拡充を考えてほしい。幼少期の子どもが朝から晩まで集団で過ごし、家庭でゆっくりする時間もなくさらに習い事に向かうような生活の中でこどもの意見表明を訴えたとしても真実味はなく、自分の思いを充分受け止めてやりとりをしてきた経験があつてこそ、子どもの人権が生きてくる。</p> <p>一場面だけを切り取らずその時期の重要性を理解した上で計画を進めてほしい。</p>

	保育に携わる職員は日々奮闘している。
19	<p>学校の給食費公費負担については、約 19 億円とのことだが、公費負担による経費削減(事務作業コストの削減)がそれなりの金額である、ということを示せば、理解が深まるのではないかと思う。</p> <p>ふるさと納税の返礼品については、杉並区の特産品はそうないと思うので、アニメ関連の会社等にも相談してみるのはどうだろうか。</p>
20	<p>デジタルデバイド対策について、高齢者や障害者以外にも目を向けたのは良いと思う。</p> <p>たとえば、窓口を手助けする人がいて、窓口に備え付けのタブレット等で操作の支援をしてあげるとかをして、スマートフォンやPCに慣れていない人への対策をできると良いと思う。</p> <p>外部人材の活用だが、人の選定には十分留意して欲しい。今まで杉並区の仕事をしていた会社に関連のある人だと、そちらの方に引っ張って行く可能性もあるわけだし。</p> <p>なお、デジタル化については、セキュリティについては十分すぎるくらいの対応をして欲しい。ランサムウェア等に感染して業務が止まるのは大変なので。利便性第1ではなくて、セキュリティ第1くらいのつもりでシステムを作って欲しい。</p>
21	<p>天沼中学校改築期間中、プレハブ等で授業をするのでは無く、既存の若杉小学校の教室及び体育館、給食室等を使用するのはいかがでしょうか。小学校と中学校では規格が異なると思いますが、プレハブでの授業や体育館、校庭が無くなるのを考えると、旧若杉小学校を使用するのは生徒にとって有益だと考えます。</p> <p>また、天沼小学校内に下校後の子供の居場所（学童や学童でなくても学年関係なく子供が過ごせる居場所）を作りたいです。学区内の学童（児童館）は、いずれも学校から遠く、子供にも負担であり、保護者としても交通事故や不審者等を心配しなくても良くなる事は有益であると考えます。</p> <p>以上ご検討頂ければと存じます。 よろしくお願い致します。</p>
22	<p>私共パソコン同好会の皆さんと永い間お世話になりましてありがとうございました。今のたびの改築にあたり様々な角度から御検討いただき有りがとうございました。私共としましてはこの場所での集まりは大変ありがたく、これからもこの地で勉強したいと考えています。係員の皆さんには御苦勞をおかけしますが、どうぞよろしくお願い致します。駅にも近く大変勉利な場所ですね。係の皆様の御健康をお祈りいたします。</p>
23	<p>前略 2024. 12. 5 臨時号について (同不順) 1. 大小すべての道路を透水性の舗装にすること。 2. 民間はもちろん、自宅の駐車場も、透水性又は周囲、中央などに 10cm 位の雨水が透み込むようにする。短い草などを植える義務化させる。又は、強く要請する。 3. 家(敷地)が狭くて、周囲に植樹できない場合には、鉢に何か花や小さい樹木を植えて並べる。 4. 片側 2 車線の道路の中央帯には、側溝の所々にある ■ のような鉄で出来た物を設置する。道路と段差のないようにする。 1～4 を実行すれば、水は地下に浸み込む。 5. 駅の改札の中だけでなく、外側にも必ずトイレを設置する。 6. 大きな商店街やメインストリート (例. 阿佐谷駅と区役所の間) にベンチを設置する。 5. バス停の近くにもベンチを設置する。(可能なところは限定される) 6. 公園の近くには、大きなマンションを建てない。大きな樹木の上から、マンションの上階が見えるのは本当に見苦しい。マンションの住民がよければ、という考えを捨てる。とりあえず、以上です。 2024. 12. 20</p>
24	<p>子供がお世話になっている学童クラブは、頻繁に工事をされていて、混雑しているのに、利用できるスペースが限られている期間があります。施設の老朽化のため改修が必要なのは理解し</p>

	ておりますが、なるべく工事期間が短くなったり、頻度が少なくて済むよう複数の工事をまとめて実施いただくなどの工夫をお願いできれば有難いです。
25	<p><b>【施策 14】「性の多様性が尊重される地域社会の実現」</b></p> <p>・パートナーシップ制度について。</p> <p>「杉並区パートナーシップ制度」は、区内在住当事者/当事者団体が議会へ陳情提出し、採択され、当時の行政と区内当事者が作り上げたものです。</p> <p>その当事者たちがどのような思いで作ったか、まず「陳情書」を読み、当事者から丁寧にヒアリングすることが、必要ではないでしょうか？</p> <p>その当事者/団体は、現在進行形で、杉並区内在住で、杉並区立男女平等推進センターを拠点に地道に活動しております。</p> <p>現在、正直、担当部署と、当事者/当事者団体が、連携取れておりません。</p> <p>それでは、どんな事をやっても、「絵に描いた餅」「仏造って魂入れず」です。</p> <p>修正云々は、平身低頭、区民当事者の声に耳を傾けてからのお話です。</p> <p>ご検討の程、宜しく願いいたします。</p> <p>「対象の計画」の選択が間違っておりましたら、該当計画へ転送をお願いいたします。</p>
26	<p>高齢化社会の準備があまり計画に入っておらず不安です。</p> <p>若者人口減に備えて、外国人材の積極的な受け入れや、ロボット介護、自動運転自動車・タクシーなどに早くから計画的に取り組んでいただく必要があるように思います。</p> <p>施設に行かずに自宅でサポートを受ける形を充実される方が、施設のインフラを整えるよりも効率的だと思います。</p> <p>ご高配よろしく申し上げます。</p>
27	<p>全ての修正箇所を確認させていただきました。修正箇所の理由及び内容について、理解及び賛意をいたしました。したがって、それらについて、特に意見はありません。</p>
28	<p>結果としては、妥当なプランに落ちついたと思う。今後、特に西宮中学とコミュニティフラットの共存がスムーズに行くような設計にしていきたい。</p>
29	<p>・ジェンダー平等推進のため、審議会条例が可決したことは良かった。</p> <p>多様な意見を踏まえ、条例が制定されることを望む。</p>
30	<p>緑を増やす計画を区民と一緒にすすめるため、具体的にスケジューリングを示したらいかがでしょうか。</p> <p>何年までに〇〇%増やす、区立の建物を新しく建設する際はなるべく植栽する。区民が関わる。</p>
31	<p>荻窪地域の【旧若杉小学校跡地の本格活用に関する検討】について</p> <p>現在、地域住民などによるワークショップにより跡地活用策の検討が進められているが、この検討にあたっては、天沼地域での施設のニーズに関する情報提供と、そうしたニーズが旧若杉小学校跡地以外での対応で会計付できるのかの検討が必要と考える。つまり、旧若杉小学校跡地だけではなく、天沼および、その周辺地域全体での施設マネジメントの検討が必要ということである。</p> <p>例えば、旧若杉小学校跡地活用の住民ワークショップでは、図書館の新設という意見も出ているが、天沼中学校の改築に合わせて、中学校の図書室の地域への解放が可能であれば、旧若杉小学校跡地に図書館を新設する必要がなくなる。中学校の図書室の地域への解放は、教育委員会が進めようとしている、学校の学びのプラットフォーム化の方針に沿うものと考えられる。</p> <p>また、旧若杉小学校跡地活用の住民ワークショップに、区から上荻保育園、上荻児童館の移設の案も示されたが、仮に、この保育園、児童館を旧若杉小学校跡地への移転を検討するのであれば、同時に、上荻保育園、上荻児童館の跡地の活用方法も検討が行われなければならない。</p> <p>こうした点を踏まえて、天沼地域や上荻地域の施設に関するニーズの検討が、旧若杉小学校跡</p>

	地活用の住民ワークショップで行われることが望ましいと考える。
32	<p>いつもお世話になっております。</p> <p>こどもの権利について分かりやすく、且つ具体的に表記されていて素晴らしいと思います。杉並区民として、杉並区小規模保育園の施設長として、とても有り難く思っております。こどもの権利は非常に大事なことだと考えております。</p> <p>保育士はもちろん一般の方にも広く浸透するよう自分でも努力していきたいと思っております。</p> <p>今後ともよろしくお願いたします。</p>
33	<p>杉並区の施設のこれからですが、自然公園とそれに隣接した冬の寒さ夏の暑さや風雨から身を守れるような複合施設を作るべきだと思います。</p> <p>子どもたちやお年寄りが安心して散歩できる自然公園には植物園があり、悪天候から身を守れる施設もあります。テーマパークのような楽しい場所で良いと思います。駅のそばなら違う区からも人が集まりお買い物もしてくれます西荻窪駅から善福寺公園に向けて、自然園にしてドーム施設を隣接すれば文京区のような姿になるのではないのでしょうか？</p> <p>小学校の隣には校庭と繋がった自然園があり児童館があれば、子どもたちの放課後の居場所になります。</p> <p>中学校には門を違う方向に作った、新しい学校があり、不登校児対策になります。</p> <p>駅から数分歩けば公園がある場所は吉祥寺駅のように若者も集まると思っています。</p> <p>夏の暑さと冬の寒さと震災などの避難所になる、ドーム施設の建設を提案します。</p>
34	<p>こども誰でも通園制度の実施について。</p> <p>親子通園を基本とするのはどうか。</p> <p>理由①保育士の対応を間近で見たり質問をすることで親の育児スキルがアップする。</p> <p>②こどもは親と離れることで感じる不安やストレスを受けないですむ。(子どもの権利が守られる)③地域の親が園に来て率直な意見を出すことが保育者の研鑽を積むことに繋がる。保育の向上となる。</p>
35	<p>他添付もひととおり確認しましたが、基本的に良くなる方向の見直し伍されていると感じました。</p> <p>緑の基本計画にグリーンインフラの視点を盛り込むことを指示します。</p> <p>緑の基本計画においてはグリーンインフラに加え、ヒートアイランド対策としての樹冠被覆率改善や、生物多様性の改善に資する施策を強化することを、期待します。</p> <p>またこどもの権利に関する項目は内容もですが、施策名もわかりやすくなり、お題目じゃなくちゃんと考えられている感じが出て来たように感じられました。</p> <p>このような計画の内容から区政が良くなっていくことが実感できることは、良くないことばかりの世の中で救いです。</p> <p>多くない職員数で、新しいことや見直しに取り組むのは苦勞もあると思っておりますが、応援しますのでよろしくお願いたします。</p>
36	<p>1. 無電柱化をすすめる対象道路について、都市計画道路、幅員6m以上と2つの条件を前提にしている。しかし、無電柱化は幅員6m以下でも可能である。全国の事例を見ればわかる。したがって防災上の整備効果の高い地域については、専門家と住民の意見を尊重して、2つの前提条件は改め無電柱化整備を求める声が強い地域からすすめる旨を書き入れるなど訂正すべきである。</p>



	<p>2. 都市計画道路221号線の拡張についても同様のことから、多様な方法について住民の目からも検証できるようにしてすすめるよう修正案を訂正すべきである。既存住民を立ち退かせてまでやる無電柱化であるにも関わらず、その有効性が極めて曖昧である。行政による住民の居住権にたいする侵害であるという認識を区全体で共有すべく修正案に明記し、拡張によらない無電柱化をすすめるべく訂正すべきである。</p>
37	<p>杉並区は 電柱化を推し進めようとしています、果たして災害のためといえるのでしょうか。無電柱化をするには道幅を広げなくてはならないという杉並区の態度には大いに疑問がわきます。</p> <p>現状の道幅で無電柱化は可能であります。</p> <p>もし、無電柱化するというのなら、高円寺北1丁目の細街路も道幅を拡張し、無電柱化整備をする必要があります。細街路に住まわれている住民は見捨てるというのでしょうか？細街路を拡張することにより、ここで慣れた土地を追い出されることになったのではたまったもんじゃありません。職員の方は「ご自身がその立場に置かれたらどう考えますか??？」</p> <p>交通量は増え、住民の安眠を妨げ、安全が脅かされます。排気ガスは増大。大人の事情で子供たちの未来を踏みつぶさないでもらいたいです。</p> <p>以上</p>
38	<p>どのような計画かにかかわらず、実際に担う担当部署の推進意識が薄いと日頃から感じます。先日も、近所の救急車や消防車が入って来れない狭い道で、家屋の建て替えの張り紙がある旨を区民として情報提供したが、電話に出た方は「ここではセットバック対象の建替え情報の書類が不動産関係から回って来たら対応しています。それが来ないと何も出来ません」と言うのみ。</p> <p>実際住む住民からタイムリーな現場情報提供があったら記録し、地域担当者がその後の成り行きをしっかり把握し、住みやすい杉並の街づくりを推進していくものではないかと伝えましたが、あくまでお役所的な感覚に呆れました。</p> <p>これは一例です。今後も、住民の協力を得て各担当部署は当事者意識を持って各事業を推進していただけることを望みます。</p>
39	<p>全体として良い方向への「修正」がなされていると感じた。特に児童館の廃止から再設置の検討を含めた方針転換は良かった。実現へ向けての具体化を望む。グリーンインフラの啓発促進の方向も間違っていないと思う。一方、都市計画道路や善福寺川治水事業などで都との関係を含め、今後どのように進めていこうとしているのか今一つ不明確に感じる。「住民の声を聞き」ということ具体的な内実をどうやって詰めていくのか。(仮称)「デザイン会議」などでの話し合いが実際にどのように生かされていくのか(生かそうとしているのか)、行政(職員)側は試行錯誤という感じで、住民側の疑心暗鬼は拭かれていないように感じる。相互の信頼感をどう形成していくかが課題と考える。「立案段階」から住民の意見を十分聴取したうえで「実証実験」などもすべきで、職員の意欲的な取り組みを「机上の空論」(失敗)に終わらせないためにも「住民の力を信じてその力を借りる」ようなつもりで事に当たるべきと考え</p>

	<p>る。これは「区立施設マネジメント」にもあてはまる。</p> <p>防災関係では、身近なところでの変化が感じられるような施策の推進を求めたい。例えば「無電柱化」は緊急性・必要性に基づき、6m以上の道路（拡幅の上）に拘るべきではない。また、緊急時使用可能な井戸やトイレなどの住民を交えた「掘り起こし、探索会（可視化）」などはどうだろうか。住民と共に歩む区政が続くことを期待する。</p>
40	<p>ゆうゆう館の夜間利用率が低いことがゆうゆう館を廃止するさざんかネット導入によりこの問題は大きく改善されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれでも使えるコミュニティふらっとに高齢者枠を優先的に作る</li> <li>・高齢者専用施設であるゆうゆう館の空き枠をだれでも使えるようにする</li> </ul> <p>この二つの施策、どちらも区の施設を効率的に使用する目的には変わりがなく、少子化が進む一方、ますます増える高齢者のことを考えると、老朽化、他施設再編成の関係等、施設そのものを建て替えしなければいけない場合でもゆうゆう館を廃止することは決して得策ではない気がします。又ふらっとに高齢者優先枠を作る施策が必ずしもうまく運用されていません。</p> <p>「誰でも使える」＝「多世代交流が生まれる」ということではないことを感じます。</p> <p>元気な高齢者それも、単身世帯が確実に増え続ける中、ゆうゆう館を「第2の家庭」的な雰囲気の中、仲間が生まれ、元気に活動できる場所として定期的に利用することで、認知症対策にも有効であると思います。</p> <p>他区でも施設建て替えの際に高齢者が優先されるシステムを残し、高齢者優先枠を取ったうえで全世代が使用するという方法をとっているところが多い気がします。</p> <p>文京区は杉並区のコミュニティふらっと同様の「地域活動支援センター」を杉並区より数年前に作り敬老館を廃止した結果、高齢者団体が集う場面が非常に少なくなったと仄聞しています。</p> <p>ゆうゆう館には高齢者に対応する文化が根付いており、単なる部屋貸しではなく、来館者の健康チェックをはじめ様々な相談処の役目も果たしています。現時点では必ずしもふらっとにそれが継承できるように思えません。</p> <p>特にゆうゆう高円寺南館は、老朽化でもなく他施設再編もなく、なにより利便性が非常に高い施設であり、ゆうゆう館として利用者数、満足度、あらゆる面からナンバーワンのゆうゆう館と言って過言ではありません。何とか高齢者施設として残す検討をお願いします。</p> <p>ふらっと高円寺南は、高齢者団体をそっくり移すのではなく、音を遮る部屋の準備もあり杉並のアート活動発信拠点としてのあらたなコンセプトでの活用もあると考えます。座・高円寺では十分といえず、活動場所に苦勞しているアート関係者にとりふらっとは非常に魅力的ではないか。杉並区としてもいま世界的に注目の「アート」支援を打ち出すことに大きな意味があると思います。</p>
41	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうゆう高円寺南館をデジタルデバインド対策施策としての活用提案 (新たなコンセプトのゆうゆう館としてあるいは高齢者活動支援センター分室として)</li> </ul> <p>現在当会はシニアのためのスマートフォン講座を高齢者活動支援センターにて受託しておりますが、場所が井の頭線沿線にあることもあり、多くの方々から中央線沿線で行ってほしいとの声が寄せられています。このシニアのためのスマートフォン教室もR7年度で4年目となり、R8年度以降の施策はデジタル化推進計画を踏まえ検討中と伺っております。</p> <p>この施策実施中の現場から、まだまだデジタルデバインド対応が必要と実感しています。</p> <p>シニアこそITを駆使してQOLを確保することが必要と感じており、それはシニアのみならず、障害を抱えておられる方はじめ多くのデジタルデバインド対応が求められていると実感しており、20年以上にわたりパソコン・モバイル普及に関わってきた当会としては、ミッションに近いものを感じております。</p>

	<p>高齢者のみならず、全世代のデジタルデバイド解消のため総合的に対応する場所として、現ゆうゆう高円寺南館を活用するということを提案いたします。ゆうゆう館として新たなコンセプトを持った存在でも、高齢者活動支援センター分室的なものであっても構いません。多くの区民にとり中央線沿線、しかも駅近という立地は非常に魅力的で、しかもゆうゆう館というよりふらっと的雰囲気建物でもあります。</p> <p>港区では「みなとふれあい館」という施設を活用して、「スマホパソコン教室」と銘打って、トータルにIT時代対応を行っています。<a href="https://www.minato-sc.or.jp/fureai/">https://www.minato-sc.or.jp/fureai/</a></p> <p>ご提案は区の「ITトータル窓口」というスタンスです。</p> <p>ほか、ITサポートのみならず、地域活動・就業等相談窓口、まちの保健室として育児ほか体調精神的不調の相談等、区民の方々の身近なよろず相談処的要素も組み入れ、だれでもあらゆる相談が気軽にできる窓口機能も併せ持つ「お困りごとなんでも承ります」的イメージを併せ付加、週のうち半分をこれらの施策にあて、残り枠を高齢者団体等区民が使用できるような施設をイメージしています。</p> <p>ご検討いただきたく思います。</p>
42	<p>荻窪地域について</p> <p>旧若杉小跡地活用については、ワークショップに参加しておりそこでの意見・要望をだしていきたい。</p> <p>旧天沼会議室別館の活用について解体・検討となっているが、この地域には高齢者施設としてあったものがコミフラ化の中で機能移転という形で、時間帯での居場所？サークル活動が優先してされる形となった。同好会的なものはそれでもいいでしょうが、単身所帯が多いこの地域で、相談にのってくれる人が居て、区の情報も取得でき、気軽に立ち寄れる高齢者施設が必要か思います。旧天沼会議室は120平米ぐらいと狭いですが、こじんまりとした温かい施設をつくってほしいです。</p>
43	<p>時間が取れないので「広報すぎなみ」をざっと見ての感想・意見です。</p> <p>区民参加のプロセスを見て、これこそ住民の生活を第一に考える地方政治の在り方と思いました。</p> <p>計画の各段階での住民の直接参加は役所にとって手間のかかるプロセスで大変だろうと思いますが、住民はその分役所の皆さんのご苦勞に感謝することになります。杉並区に住んでいてヨカッタと感じます。</p>
44	<p>区立施設マネジメント計画は、「ハコモノ」の（統合）配置、「多機能化・複合化」など効率化を中心とした施設の機能改変中心のものと感じられた。地域住民・利用者の声を聞きながらそれらを進めていく姿勢は感じられたが、（設置後の）区立施設の「管理・運営」の在り方への言及がないことが気になった。「設置する段階」だけでなく「設置後のこと」を含めてこそ「マネジメント」だと思う。例えば、コミ・フラは「多世代（誰も）が利用できる施設」として、既存の施設を統合（効率化）している。「理念」としては多くの賛成を得られるが、実際にどのように管理・運営されるかによって、「誰（特に統合された施設利用者）にとって使いにくいもの」となりかねない。かつて杉並には、「地域集会施設運営協議会（運協）」という（町会などの）地域住民が区立施設の（清掃などの）管理と（受付などの）運営を担っていた。その後、一部住民負担が重いことなどもあり、「（7地域の）区民センター協議会」と「運営」がとられ、区の直営管理をへて、指定管理者制度が導入され、現在に至っている。管理面を民間の力に依ることにはそれなりの合理性があるが、「運営」は地域住民・利用者の声を取り入れる仕組みが必要だ。現在、区と協議会の間でのパートナーシップ協定には、「協議会が区に</p>

	<p>施設運営に意見をのべること」や「指定管理業者を含めた定期的な連絡会を置くこと」が定められるが、ほとんど機能しておらず、施設の利用ルールなどは、「区が指示したものを指定管理業者に実施させている」のが実情で、ルール作りも運用も住民の出番はないも同然である。区としては「誰からも文句の出ないルール」作りに苦心(?)しているようだが、その結果は、「誰の満足も得られないもの」になっているものもある。区立施設のルール作りなどは「コミュニティ形成」の基本だし、区立施設は本来、地域コミュニティの形成に役立ってこそ意味のあるものだ。最近、「公園の使用ルール（花火の使用など）変更」があった。結果としてとても良いことだが、誰が、どうやって変えたのだろうか。設置後の運営を含めて、住民の声を反映する仕組みを構想しながらの「マネジメント計画」を作成してほしい。</p>
45	<p>全てに賛同の立場で、環境・みどりについて申し上げる。</p> <p>気候危機対策の推進について、我々は岸本区政に期待するところ大であり、この程度の修正では不満と言うほかない。</p> <p>「施策9 1創エネルギー事業の推進」「施策9 2省エネルギー対策の推進」については、現行制度の要望件数増による拡大であり、妥当というに留まる。更なる利用促進の啓発と利用しやすい制度改善に努められたい。「4区施設の環境対策の推進」についても目標値を定めるべきであるし、「5区民及び事業者参加による気候変動対策の推進」については、事業者認定制度に留まらず、これによりステークホルダーを育成し、新エネルギー活用の地域産業の育成に向けた投資を制度化すべきである。</p> <p>「施策11 4みどりの質を高める」については、今般、国の「緑の基本方針」において、市街地の緑被率3割以上という意欲的な目標が掲げられたところであり、交付税措置相当の財源増も見込まれる。意欲的な計画策定を期待する。周知の通り、我が国の戦後の都市計画は機能主義に陥り、緑化思想は普及せず、田園都市運動を反映した欧米諸国の諸都市に比して貧相である。「みどり豊かな住まいのみやこ」の目標をお飾りに留めてはいけない。相変わらずの樹木伐採を伴う開発など論外である。</p> <p>なお、折角の機会なので要望するが、公園のベンチの配置について見直されたい。杉並区に限らないが、猛暑の折、高木があるにもかかわらず、日中に木陰にならず直射日光が当たるために、利用されないベンチが多数ある。施設整備時に気候危機対策の観念がなかったのが理由と思われるが、木陰とベンチの位置に相関性がないのは、失礼ながら見るからに間抜けである。高木の設置及びベンチの移設を行うべきである。</p>
46	<p>子どもの居場所づくりについて</p> <p>「春休みの児童館でアルバイトしませんか」と声をかけても「人数がね」と断られてしまいます。子どもたちでごった返しているのは区内の児童館どこも同じなのでしょう。地域貢献のつもりでの児童館でのアルバイトでしたが子どもの安全を考えると気の休まる時がありません。</p> <p>さて多摩地域に住んでいる孫たちは休みの日にうちへ来てまず行きたいところが児童館（父親が子どもの頃は児童館今は子ども子育てプラザ）遊ぶ環境としては申し分ないのですがいつも混んでいます。近くの中野区の児童館にも行きますがこちらの方がすいているような気がします。5歳児の人口と児童館の数で比較するとなんと一館あたり180人も差がありました。（令和5年度年齢別人口を児童館数で割る）単純な話ではありませんがやはり混み具合は数でもはっきりしています。子どもたちが安心して過ごせる施設を十分な数作って欲しいと願います。</p> <p>学校施設の利用の問題点</p> <p>学校敷地内にある学童クラブ、放課後教室は授業が終わったあとの移動の点で安全はこれ以上のものではありません。しかし教室に立ち入らない、保健室に行かない、など幼い児童には理解</p>

	<p>できないことが大きくて別棟で設備の整った建物を作って欲しいと願います。私自身は教職員の立場で子どものケアのためにも手助けしたいと思うこともあり学童クラブの指導員さんたちとも仲良くしていましたが本来はお互い別組織であくまでも好意の範囲内でした。指導員さんの中には、厳しく「教室には入っちゃいけない」と叱責する人もいたので子どもたちが割り切れない思いを感じていると悲しかったです。</p> <p>ちどり幼稚園が閉園するのでここが子どもや子育ての親御さんのための施設になって欲しいと願います。下井草児童館の時から乳幼児はなかなか楽器を触らせてもらえなかったのでちどり幼稚園から聞こえてきていた楽器や子どもの歌声を思い出して強く要望します。ここでなら文句言われなかなど。</p>
47	<p>施策1 1 4 みどりの質を高める（7ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンインフラについては「すぎなみボイス」で賛否両意見があるが、水害予防が前面に出過ぎている印象を受ける。大気環境改善・風害緩和・ヒートアイランド緩和などの環境改善効果、火災延焼防止や崖崩れ防止などの防災効果、生物の繁殖・移動経路としての生物多様性保全効果など、多様な効果をもっとPRして賛同者を増やす努力が必要であり、みどりの基本計画改定においても多様な効果を踏まえた内容として頂きたい。</li> <li>・中でも生物多様性保全に関しては、生物多様性地域戦略の策定を事業化し、みどりの基本計画改定と合わせて策定してほしい。また、生物多様性地域戦略の策定過程に様々な形での区民参加や普及啓発を進め、先駆的な取り組みをお願いしたい。</li> </ul> <p>施策2 6 3 地域活動拠点の整備（45ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍以降、地域活動団体がICTを活用するようになり、集会施設におけるオンライン会議の可能な高速Wifi環境は大事なインフラの1つとなっている。コミュニティふらっとの改修や建設に当たっては、高速Wifi環境の導入を可能な限り行って頂きたい。</li> </ul>
48	<p>杉並区では、各種行政相談が行われていますが、ほとんどの場合、相談希望者が、区役所等へ出向いて、対面で相談するようになっています。</p> <p>相談を、オンラインでもできるようにしていただきたいのです。相談者には、高齢者や障害者の方もいらっしゃるかもしれません。自宅から、各種行政相談を受けることができれば、相談希望者にとってとても便利になります。相談する専門家にとっても、勤務先から対応できるなど、便利になるのではないのでしょうか。</p> <p>相談件数も、増加するのではないかと思います。</p> <p>杉並区デジタル化推進計画（第2次）修正案に、ぜひ、取り上げてください。</p>
49	<p>西荻地域の北保育園の改築に伴い西荻南区民集会所に暫定的に移転をさせることが記されている。それによって現在の西荻南区民集会所もなくなる。令和4年に西荻南区民事務所が旧西荻南区民集会所が現在の北側に移転した。西荻南地域の区民にとって利便性の高い集会所であった。現在の区民事務所の場所に西荻南区民集会所を戻すことを早急に実現してもらいたい。現在の西荻南区民集会所が現区民集会所の所に戻らなく令和8年以降に現区民集会所に北保育園が移転すると5年間近く区民集会所が不便な場所のままになる。地域の文化的活動の後退が続くことになりかねない。よって早急に現西荻区民集会所を現区民事務所の場所に移す検討を先行されるべきだと思えます。</p>
50	<p>高井戸自転車集積所の廃止に条件付きで賛成します。廃止するなら撤去活動全体を見直して下さい。放置自転車の激減、皆様のご努力に感謝します。しかし、知人が関係者ですので、1台を撤去・保管するのに3万円かかっているという、度を越した税金のむだづかいなど、内情も聞いています。ほとんど成果がなく、カラに近いトラックで、空気を運んで排気ガスをばらまいているような、意味のない撤去を毎日のようにくり返し、税金（人件費）をむだにしているとのこと。撤去は放置抑止力が効く最小限にとどめ、数ヵ月に1度でよいでしょう。そうすれ</p>

	<p>ば集積所業務もいずれワンオペが可能でしょう。駐輪場の拡充や、自転車ゾーンの道路整備に予算をまわして下さい。そろそろ変えて下さい。気持ちのいい自転車生活を期待しています。実現まで注視します。</p>
51	<p>特に何かの手続きのためということではなく、一般的な問い合わせ等もデジタルでできるよう全ての部署で連絡先として E メールアドレスも提供すべき。(現状、電話番号しかわからないため、平日の昼間でないと問い合わせが難しい。)</p>
52	<p>男女平等参画とジェンダー平等がなぜ並行してあるのか意味がわからない。</p> <p>そもそもこの言葉だけでは何が答弁されているのか全く分からず、透明化されていないことが不安で仕方ありません。</p> <p>性的マイノリティーの方の悩みが区内で何件届けられているのか？ 同様に男女平等参画における悩みも何件くらいなのか？ その件数に対して予算は妥当なのか？ どこかの予算を見ると、意味もないどこかの国の言葉の講座などに予算が使われていると聞きました。 使途が気になります。</p>
53	<p>●子どもの居場所づくり</p> <p>広報すぎなみを読みました。子どもの居場所を当事者の子どもの声をきいて作ったことが本当に、よいと思った。わたしは50代で、わたしの子ども時代とは違う困難を、子どもたちは抱えていると感じるので、当事者の声が入って本当に、よい。わたしも関わりたい。</p> <p>中高生の居場所、昔はなかった。女の子たちがいつも心配なので、区の居場所があるのは、ひとつ、安心できる。この場所に携わるスタッフ、職員の研修を充実させたい。安全で、信頼がおけるおとながとて、大事だと思う。</p>
54	<p>「多様なニーズに対応した保育サービスの推進」という事で「こども誰でも通園制度」が注目されていますが、それを認可保育園が行うと言う事で進められている様に思います。</p> <p>そもそも、「こども誰でも通園制度」の根本的な考え方である「保育を必要とする人が誰でも利用できる保育の場」の提供を長年に渡って行って来たのは多くの認可外保育所です。認可保育園が充実した昨今の杉並区では、保育園足りない騒動に乗ってできた認可外保育園の多くが撤退していると言う現状があります。その中で運営を続けている認可外保育園を再度見直していただく事を希望します。認可外保育園が長年積み重ねてきたそこが必要とされる意味とノウハウを見直していただきたい。それを無視すること自体が非効率であり、本当に必要な事が見落とされる可能性もあるのではないかと思います。「こども誰でも通園制度」の持つ意味は、ただ子どもを預かると言う事だけではなく子どもを含めた人と人、地域と人をつなぐことであり、それは保育年齢の子どもだけでなく、その子どもたちがどう成長して行くかを地域皆で見守り続ける事だと思います。その為には地域に根付いた気軽に立ち寄れる小さな保育園の存在が意味を成してくると思います。何よりも使いやすさ、フットワークの良さが重要と考えます。</p> <p>又その制度をどの様に提供して行くかと言う事についても意見を述べさせていただきます。杉並区には「子育て応援券」と言う保護者にとって非常にシンプルで使いやすくありがたい制度が現存します。「子育て応援券」の「こどもを預かるサービス」が正に「こども誰でも通園制度」と重ねられるものではないかと思います。制度的な誤差を調性するとしても「こども誰でも通園制度」子育て応援券の「こどもを預かるサービス」東京都の「多様な他者との関わりの機会の創出事業」この3種はすべて杉並区で実施しているにもかかわらず、利用者にはその差が極</p>

	<p>めてわかりにくく、「どう違うの?」「私はどれが利用できるの?」「利用の仕方は全部違うの?」などの質問をよく受けます。行政が新しい制度を始めようとする、担当部署がそれぞれに何かと新しいシステムを導入しようとする傾向がある様に思います。利用方法はシンプルなのが一番。利用者が利用しやすくわかり易いのが「子育て応援券」であると言う事をふまえ、子育て支援制度を構築して行って頂きたいと思います。</p>
55	<p>杉並区総合計画 杉並区実行計画（第2次）の修正にあたり、子どもの権利が尊重される地域社会の実現やより良い子どもの居場所づくりの推進、地域における子育て支援体制の充実に取り組まれることは大いに賛成する。</p> <p>この中で、子どもの権利について、広く普及啓発に取り組む（P.27）とあり、本文を見るに、区が住民に対して普及啓発を行うと取れるが、本計画で掲げられる計画の内容については、策定に携わる職員や担当課の職員だけでなく、区の職員全体が共通認識として活動の指針にできるよう区職員への普及啓発にも取り組んでいただきたい。</p> <p>過日、子どもが通う園に対し、近隣住民から退園後18時前後に屋外で遊ぶ声がうるさいという声が区に寄せられたとして、杉並区の保育支援課は園に通わせる親に速やかな帰宅を促す通達を出すよう指導があった。区の職員が状況を確認した様子はなく、計画では居場所づくりに取り組むとするのに対し、実態としては、部署により18時であっても批判的な声が上がれば子どもに我慢を強いる対応をよしとしている状況ではないか。P.29には、多世代の区民を対象とする一般区民施設についても、可能な限り、子どもの居場所としての充実を図るとある。ぜひ実現してほしいが、この意味するところは、新たな場を作ることだけではないはずで、近隣住民の理解を得ることで居場所を減らさないことも含まれるのではないかと。そうであるとすると、一見すると担当ではない部署の職員も共通した認識を持つ必要があるのではないかと思う。</p>
56	<p>まとめにつきまして、以下の2点を私の意見として提出します。</p> <p>1、「ゆうゆう館」は老人福祉法上「老人福祉センター」として位置づけられており、その維持運営は国とともに司法自治体の責務だ。（第4条）</p> <p>また、その施設の運営に当たっては「無料又は低額な料金で」、老人の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの提供を予定されている（第20条の7）</p> <p>したがって、地域住民が「ゆうゆう館は要らない、一般に使えるコミュニティふらっとにしよう」と言っても、杉並区はその職制上潰すのはおかしい。どうしても財政上立地上の制限で独立施設が難しい場合には、地域住民に法の趣旨を伝え、複合施設の運営上で上記第20条の7の金銭的な便宜や、目的の実行を保障すべきである。</p> <p>他方、団塊の世代が大量に後期高齢者になった2025年を迎え、後期高齢者が健康で自律した意欲ある生活を営むことは、区の財政にも大いに貢献する。この点も多世代の地域住民に丁寧に説明すべきと考える。</p> <p>結論としては、2つあったゆうゆう館を1つにしないで、建て替えのための空白期間があっても、可能な限り2つとも存続すべきだ。そして、利用されずに施設が開いているときには「施設外利用」をどんどん活用して稼働させれば良いと思う。</p> <p>2、本地域を含む西荻地域には、かつて善福寺児童館と西荻北児童館があった。多くの中高生を含む子どもたちや保護者の反対を押し切ってこの二つの児童館は閉館にされてしまった。</p> <p>その結果、行き場を失った主に小学生たちは関根文化公園に集まっている。しかし、雨の日は行き場を無くし、かつ同公園は前田中区長の了解のもと東京都の「善福寺川上流調節池」計画によって工事ヤードなどに使用されることが予定されている。</p> <p>子どもたち自身が望む居場所の提供を提言する今回の「居場所事業（案）」に照らしても、今回の「旧上荻窪会議室等の跡地活用」に、なぜ、児童館の復活が入らなかったのか？疑問でなら</p>

	<p>ない。</p> <p>地域の検討をした区民から「児童館復活」の意見は出なかったと、区の担当からは聞いた。しかし、たまたま検討した区民の中に児童館利用者の保護者や、たまたま閉館後に子どもが利用者年齢になったが児童館を知らなかった層の人たちがいなかった可能性も考えられる。</p> <p>1, もそうであるが、福祉施設の分野については、区の方から積極的な施設の意義の説明をして欲しい。</p> <p>以上</p> <p>2025年1月6日</p>
57	<p>緑ゆたから住いのみやこ杉並に生れ育った私は、杉並の緑を育てたいと思っています。それが地球を守り、次世代につなげる大切な仕事だからです。P7、施策11、4. みどりの質を高める〈重点〉「グリーンインフラの具体的導入…」の施策を大歓迎します。地球温暖化ストップへ、すでにまったないの今日です。地球規模でひとりひとりが考えることを迫られている今日、身近な自治体が地域住民に呼びかける、この手法はとても大事です。私ひとりで何ができるかと考える日々、子ども達とも一緒にできることしたいです！</p>
58	<p>杉並区が長い間“子どもの居場所”づくりに心を寄せてきたことに大変うれしく思いながら子育てや教育活動をして来ました。それがガラガラと音をたててくずれていったことに区民がだまっておれなかったことが新しい区政を誕生させたのだと思います。もとにもどすのは大変ですが25館+7館→32館で充分だとも思えないのですが、新たな7館構想を歓迎して意見を出します。☆阿佐谷南児童館が児童相談所となることは致し方のないことですが、阿佐谷南児童館はもともとセンター児童館の役割をしていました。役所に近いこともあり、相談機能も備えていたこともあって大切な場所だったと思いますので、プラス7館のひとつを是非今までの場所の近くを選んで下さい。☆〈ゆう杉並〉区内、唯一というのは残念ですが、行動範囲も広がる中高生にとってはとても有意義な施設です。なので、同居している女性センター（男女共同参画センター）を若杉小跡地計画の中には是非移転して-女性センターにとっても地理的に便利な場所になっていいはずですが-中高生の活動の内容と場所を拡げてあげたいです。今若者の生きづらさが大人の私たちにとって大きな悩みです。若者が生き生きと活動し、成長していける土台を彼らの生きていくそれぞれの場所で養ってほしいです。☆学童クラブ…行き帰りが安全であることも大事ですが、児童生徒にとって居心地がよいことです。学校内も否定はしませんが、不登校がふえている今こそ、児童館内の学童ク、を重視して下さい！</p>
59	<p>総合計画、実行計画（第2次修正案（No. 2393臨時号）の8頁。1. 突発的自然災害から住民の生命を守る治水、放水、避難生活上の日常性の保持対策は当然必要である。2. 感染症蔓延時、学童たちは、臨時閉校後放課（放置？）されて無秩序で公園で群れている。想定できる事故の防止策等の公園設備（安全性と情操感の兼ね備えたもの）、大人の見廻り人員等が必要である。3. (1)と(2)を両立させるためには「環境、みどり」のための施策9及び10に区内の美術大学の協力を得ることも考えられる。</p>
60	<p>広報すぎなみ12/5臨時号にて「区民意見を募集します」への応募。1. 杉並の「臍」は何処か？複数でもいいが、核となる地が無い。2. 杉並の将来には「ワクワク」感が無い。杉並区民の物理的な夢があってもいい。3. 杉並には「南北問題」が在る様に想える。北に篤く南に薄い行政姿勢に不信感を抱く。4. 以上の点に、具体的な施策を構築して欲しい。頓首。</p>
61	<p>ページ3. 4創エネルギー事業の推進：「再生可能エネルギー等の導入助成件数増」は、気候変動対策の取り組みであり、区民生活の支援としても重要な施策である。ページ15、16福祉・地域共生：ジェンダー平等の推進のため、条例制定を見据え審議会条例を可決した。審議会での多様な意見の表明が広く公表され、区民の間でも議論が深まり、条例制定につながることを</p>



期待する。ページ17、18性の多様性が尊重される地域社会の実現：パートナーシップ制度が推進され、併せて、性の多様性が尊重される地域社会の実現し、ひいては人権が尊重される社会の実現を望む。ページ19、20地域の支えあいと安心して暮らせる体制づくり：学習支援事業の実施回数が増えたことは評価したい。ページ25～28子供の権利が尊重される地域社会の実現：子供の権利に関して、社会的啓発活動は必要。子供の意見表明ができる環境整備、社会的活動の参画等の具体策が示されている。また、子供の権利保障と権利侵害に関する相談救済機関の設置を位置付けていることも評価したい。ページ29、30よりよい子供の居場所づくりの推進：子供たちや地域関係者から広く意見を募り、意見交換を重ねながら子供の居場所づくり基本方針を策定したことを、高く評価したい。児童館全館廃止方針を新設方針に転換したことは、画期的である。最終的には、小学校区ごとに1館とすることを目標とすべき。そこに至るまでは、補助的な施策が必要である。中高生機能を優先する児童館は、中高生の居場所として重要。利用しやすい配慮が欠かせない。児童館職員の専門性ある対応があつてこそ、施設の価値はさらに上がっていく。職員の育成策を並行して推進すること。学童クラブ、校庭開放などの施策と相まって、子供の居場所が多様化し、充実させることが重要。以上